



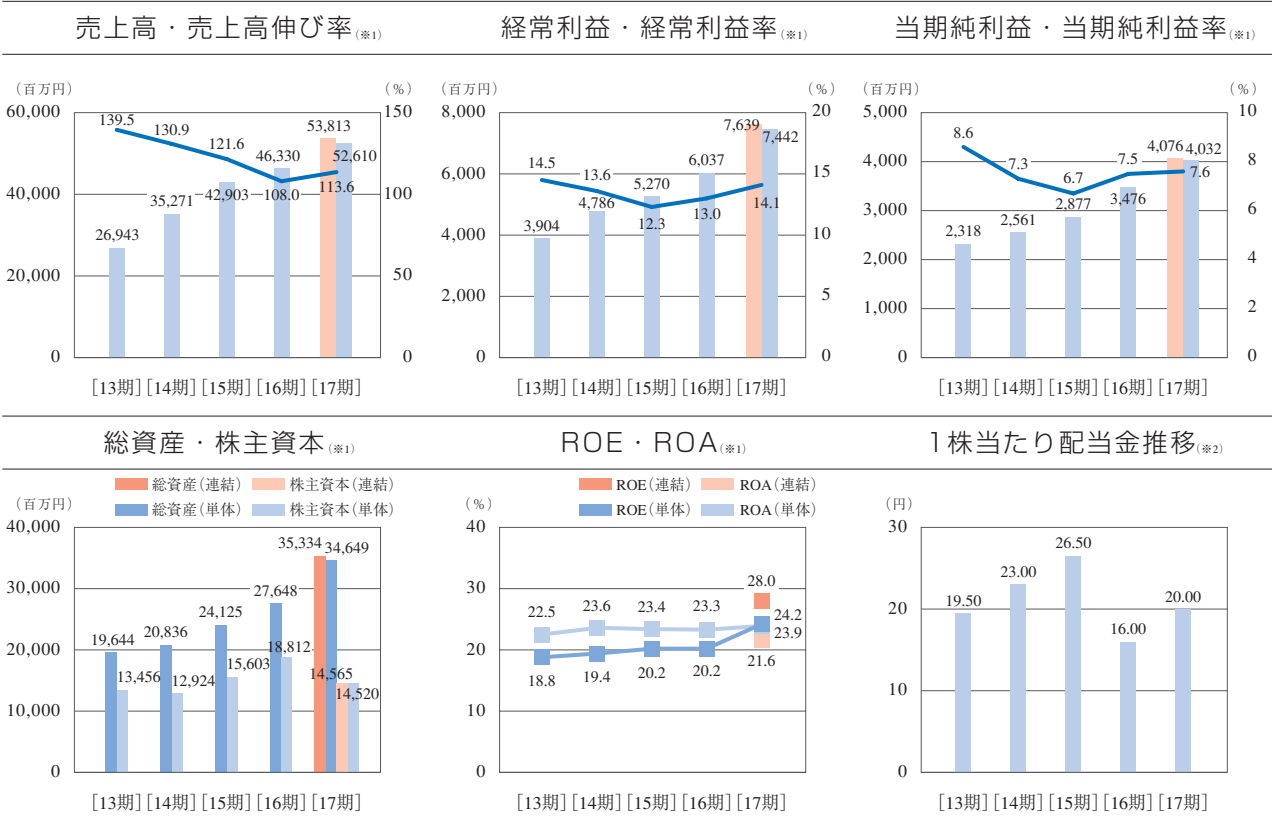
東 矢 通 信

TABAYA TSUSHIN Vol.13

2005.4.1 ~ 2006.3.31



UNITED ARROWS LTD.



(※1) 第17期(2006年3月期)より、2005年11月に子会社とした株式会社フィーゴを連結対象とし、連結会計を開始いたしました。
(※2) 2004年5月20日(第16期中)をもって、1株を2株に株式分割いたしました。
＜将来予測に関する記述についての注意事項＞
当情報誌の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。
実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知ください。

CONTENTS

財務ハイライト	1	連結財務諸表	11
To Our Shareholders	2	単体財務諸表	13
Interview with the President	3	～UAグループに株式会社フィーゴが加わりました～	14
特集 UAオリジナルスーツができるまで	5	売上・店舗データ(UA単体)	15
Business News	7	株式データ・会社概要・役員一覧	17
コラム「Aさんからドゥロワーにいただいたコトバ」	10	ご案内	18

UA理念

philosophy of UNITED ARROWS Group

「MAKE YOUR REAL STYLE」

私たちは、新しい「日本の生活・文化の規範」
(THE STANDARDS OF JAPANESE STYLE)
となる価値観を創造し続ける集団です。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。
ここに、当社第17期(2005年4月1日～2006年3月31日)の
営業の概況と決算につきましてご報告いたします。

東矢通信は今号より、デザインをリニューアルいたしました。
株主の皆様へ、より親しみやすく、より有意義な内容をご提供してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2006年6月

代表取締役会長

重松 理

代表取締役社長

岩城 哲哉

「構造の改革」から「構造の強化」へ、
新たなステージであゆみを進めます。



Q1…2006年3月期はどのような年でしたか？

創業17年目にあたる2006年3月期は、売上高が500億円を突破し、当社が新たな成長ステージに第一歩を踏み入れた期となりました。売上高と各利益は前期実績および計画値を上回り、最高益を更新することができました。さらに現在推進している構造改革についても、売上総利益率の向上やたな卸資産の対前期伸び率の低減など、一定の成果を挙げることができました。

Q2…発表されました重点事業の新プランについて詳しくお聞かせください。

当社では中長期的な成長拡大に向け、2006年初頭に3つの事業について新プランを発表しました。まず、現在当社の主力業態であるユナイテッドアローズ(UA)は、ドレスを軸とした『ユナイテッドアローズ』とスポーツを軸とした『ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ』にブランドを2分して店舗展開し、将来的にはそれぞれ24店舗と48店舗体制とし売上高600億円規模を目指します。UA業態は、2006年3月期には売上高300億円弱の事業にまで成長し、顧客数の増加と顧客層の広がり、また

また下半期には、イタリアの鞆・皮革製品のブランドであるフェリージの国内独占販売権を保有する株式会社フィーゴの全株式を取得することで、初めて連結子会社を持つことになりました。今後はグループを挙げ、単体企業では成し遂げられなかった様々な可能性にチャレンジしていこうと思っています。

価値観の多様化など統一ブランドでは対処が難しくなってきた現状からこのような経営判断を下しました。

次に、第2の主力業態であるグリーンレーベルリラクシング(GLR)については、既存形態店舗の出店に加え、ウィメンズ専門店の「ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング」、メンズ専門店の「オドナタグリーンレーベルリラクシング」という新規形態店舗を併せて出店することにより、将来的に115～145店舗、売上高450～500億円規模の事業を目指します。

GLRは、事業開始から8年目の2006年3月期には年商100億円を達成し、ご利用されるお客様も年間100万人を突破する事業となりました。このため、今後は出店形態を多様化することで、お客様の多様化、分散化するニーズに幅広くお応えしていきます。

また、女性のシューズと雑貨を取り扱うオデット エオディール(OEO)については、2007年3月期から積極的な出店を開始し、長期的には60店舗、売上高100億円規模の事業を目指します。

Q3…2007年3月期はどのような部分に注力して経営を行っていきますか？

2007年3月期は、「構造の改革」から「構造の強化」へ移行する期であると考えています。5年越しで取り組んできた構造改革によって、運営上必要な枠組み(構造)についてはある程度のベースができてきました。今後は、この新しい枠組みのさらなる強化が必要です。そこで全社の重点取り組み課題として「自主企画商品の開発力強化」、「店頭販売力の向上」、「業務効率化による生産性の向上」をメインテーマとして各種の施

OEOは、2002年に始動し、2006年3月期末には6店舗を展開するスモールビジネスユニット(S.B.U.※)です。同事業は、特に近年突出した成長を続けており、S.B.U.の中でも重点的に投資を行っていく判断を下しました。

※ スモールビジネスユニット=当社の主力業態を目指し、積極的に店舗展開を行っていく事業であり、2006年3月期末現在、アナザーエディション、チェンジズ ユナイテッドアローズ、オデット エオディール ユナイテッドアローズ、ドゥローワ、ダーズリン・デイズの5つの事業を展開しています。

策を講じ、全方位的な構造の強化を図っていきます。新しいステージにおいても、お客様にご満足いただける商品の提案・サービスの提供をすることで、社会に貢献し続けてまいりますので、株主の皆様には、変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

岩城 哲哉

特集 UAオリジナルスーツができるまで

ユナイテッドアローズ(UA)は、スーパーSPA企業(仕入製造小売業※)を目指しています。商品仕入(モノ選び)に加え、商品企画(モノ作り)にも力を注ぎ、お客様ひとりひとりにオリジナリティあふれる商品をご提供しています。その中でも、UAオリジナルメンズスーツは、ショップの顔とも言える存在です。今回の特集では、“UAオリジナルスーツができるまで”と題し、メンズスーツの生産工程に携わる担当者の声をご紹介します。



メンズスーツの最高峰「ソブリン」のこだわり

「ソブリン(SOVEREIGN)」は、UAのメンズクロージングの最高峰として位置づけられるオリジナルレーベルです。自分の価値観を大切に、装いにも高い嗜好を追求する大人の男性をメインターゲットに、最上の贅沢品をご提供しています。この「ソブリン」のハンドメイドスーツに込められたこだわりの一部をご紹介します。



上衿

衿の芯となる布地にはインポートの麻などを使用し、首筋にフィットさせることにより、重量がせき髄にかかり肩先に重さを感じさせません。

生地

主にイタリア産の生地を使用し、仕立ての工夫により美しいドレープ(ひだ)と着用感を両立させています。

ボタンホール

「良い服はボタンホールさえ美しい」をモットーに、一針一針手仕事でソフトな仕上がりを心がけています。

縫い目

袖付部をはじめ、縫い目の全体の8割以上に手仕事を施すことにより、ミシンではできないソフト感を生み出します。



ソブリンは「THE SOVEREIGN HOUSE(ザ ソブリンハウス)」のほか、全国のUA店舗にて取り扱いをしています。

www.sovereign-house.jp / www.united-arrows.jp

※ SPA=Specialty store retailer of Private label Apparel・・・製造から小売まで一貫して自社で行うファッション企業：通常「製造小売業」と訳されます。UAは「スーパーSPA構想」として、接客・販売、商品仕入(モノ選び)、商品企画(モノ作り)の“川下から川上まで”すべての業務を高次元で兼ね備える仕入製造小売業を目指しています。

○ デザインの作成 ○

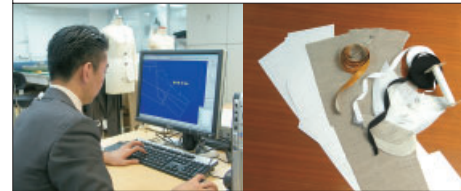


UA本部1部1課 メンズドレス担当
鈴木 勝(すすき まさる)

UAはバイイング軸での世界中の旬な情報があるので、企画立案の足がかりとしての強みがあります。作成したデザイン画は、イメージに合う写真や素材を交えて、技術者や生産担当者に説明します。この仕事は、いかに正確に次の人にパスを出すかに尽きます。自分の描いているデザインイメージを形として表現するためには、デザイン、仕様の考え方をより具体的に伝えなくてはならないからです。イメージ通りのサンプルがあがった時は、単純にうれしいですね！



○ パターン・仕様書の作成、資材の決定 ○



商品統括部 技術統括課
黒崎 幸彦(くろさき ゆきひこ)

できあがったデザインを具体的に表現するため、パターン(型紙)と縫製仕様書の作成、副資材の決定を行います。生産を委託している縫製工場様とは、その技術、作業方法、設備等を理解し、デザインのクオリティを実現するための入念な打ち合わせを行います。企画者とイメージをシンクロさせ、デザインと寸法や着心地を両立させることが苦心するところでもあり、やりがいでもあります。そこにさらにクラス感が伴っているところが、UAのオリジナルスーツの魅力です。



○ 協力工場での生産 ○



UA本部1部1課 生産担当
千葉 康弘(ちば やすひろ)

希望する納期に決まった数量を生産するため、協力工場や素材、付属メーカー様との調整や進捗管理を行います。当社が追求するクオリティと納期、コストを両立させることが任務です。長期に渡る取り組みに対して意思を高く持って取り組むこと、協力工場様とは当社が目指すものをあらゆる面からご理解いただき、深い信頼関係の下に仕事をすることを心がけています。当社におけるオリジナル商品とは“生き残りをかけた挑戦”であると思って、日々の業務に取り組んでいます。



○ 全国のユナイテッドアローズへ ○



ユナイテッドアローズ 原宿本店メンズ館
メンズドレス担当 千島 晋士(ちしま たかし)

UAのオリジナルスーツには、UAの考えるスタイルが詰まっています。その時代に合った、かっこよさ、エレガンス、気分、ノリ……。日本のクロージングスタイルは、ここから始まるといっても過言ではありません。私たちセールスパーソンは、着心地や形、色、柄をはじめスタイリングに関するお客様の声を蓄積し、積極的に商品企画部門にフィードバックしています。お客様のリクエストにお応えやすく、より奥行きのある商品を展開できること。これもオリジナル商品の魅力です。自分たちが創る商品に誇りを持ち、お客様ご自身のスタイリングや、その時その時の気分やノリに合ったスーツを見つけていただくためのお手伝いができれば、といった気持ちで日々お客様に接しています。

Business News



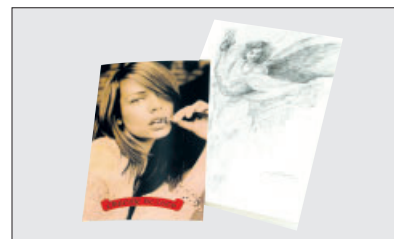
「ZOZOTOWN」(ゾゾタウン)ユニテッドアローズサイト



オドナタ グリーンレーベルリラクシング 大丸梅田店



ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング 松屋銀座店



クロムハーツ '05秋冬 ダイレクトメール



ゲージリン・デイズ 梅田阪神店



オデット エ オディール ユニテッドアローズ 立川店

● ユニテッドアローズ業態

ユニテッドアローズ(UA)業態は、当期の年商が297億円となり、300億円を目前とするところに到達しました。売上の概況としては、メンズ、ウィメンズの彩貨部門(シューズ、バッグ類)が好調に推移し、客単価の上昇に貢献しました。また、通販部門においては、9月にネットショッピングタウン「ZOZOTOWN」(ゾゾタウン)へ出店し、計画を大きく上回る売上となりました。アウター、ジャケット、パンツ、雑貨など豊富な商材の展開と、ネット限定・先行商材の販売といった企画が、ZOZOTOWNにおけるお客様からの人気を確立しました。

顧客管理施策として、2月にUA全店で取り組みを開始したハウスカードは、目標を大きく上回る入会会員数で推移しています。ハウスカードから得られるご来店・ご購入履歴などの情報は、より満足いただけるサービスに活かすとともに、商品企画や商品在庫計画に反映するなど、様々な形で活用していきます。

「ZOZOTOWN」(ゾゾタウン)ユニテッドアローズ サイト <http://zozo.jp/shop/unitedarrows/>

※ビジネスユニット合計売上高前期比 105.5% 既存店売上高前期比 104.1%

● ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング業態

ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング(GLR)業態は、当期も着実な成長を遂げ、1998年の事業開始から8期目にして年商100億円のステージに到達しました。生産、販促、販売各部門における連携の強化、マーチャンダイジングシステムを活用した密な売上の仮説検証など、各課題に対する地道な取り組みの成果が表れました。3月には、GLRから「オドナタ グリーンレーベルリラクシング」、「ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング」のメンズ、ウィメンズのストアブランドがデビューしました。“ビジネスマンのためのライフスタイルサポートショップ”であるオドナタ、“セクシーは自分のために、エレガンスは男性のために”をコンセプトとするファサードは、従来のGLRとはまた違ったグレード感、世界観を持ち、新しいお客様層を開拓するとともに、その多様化・分散化するニーズにお応えしていきます。

※ビジネスユニット合計売上高前期比 122.0% 既存店売上高前期比 107.2%

● クロムハーツ業態

クロムハーツ業態は、アクセサリや雑貨といった主力商材を中心に売上が高い伸びを示し、引き続き好調に推移しました。日本国内におけるクロムハーツブランドの認知度、人気の上昇と、これまでの若年層に加え、富裕層やシニア層へマーケットニーズが広がったことが好調さを後押ししました。また、ハウスカードによるお客様動向の分析を行い、的確な販促活動を行ったことに加え、接客、サービスなど各施策に対するスタッフの情報共有と意識向上を推進した結果が表れました。

※ビジネスユニット合計売上高前期比117.4% 既存店売上高前期比115.6%

● S.B.U. 及び UAラボ

S.B.U. 及び UA ラボでは、「アナザーエディション」、「オデット エ オディール ユニテッドアローズ」(OEO)、「ドゥローワ」といった比較的規模の大きい事業が好調に推移し、S.B.U. 及びUAラボ全体の売上がけん引しました。これらの事業については、今後の成長に向けて事業基盤が固まりつつあるステージに入ったといえます。

特にOEOは、品質の高さと洗練されたデザインがリピーターのお客様の拡大につながり、既存店における売上が大きな伸びを示しました。いよいよ拡大ステージを迎える来期以降は、さらに積極的な出店を行っていきます。

※ビジネスユニット合計売上高前期比 151.3% 既存店売上高前期比 115.2%

※各業態、事業の出店の状況については、18ページの「新店情報」をご覧ください。

ユニテッドアローズの小売全事業 9事業79店舗（2006年3月31日現在）

■ 主力業態（3事業55店舗）

● メンズ業態 ● ウィメンズ業態



UNITED ARROWS



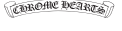
green label relaxing



ACADE GREEN



ODONATA



CHROMATIC HEARTS

ユニテッドアローズ23店舗+レーベルイメージストア（L.I.S.）2店舗 ● ●

年齢軸で対象を制限せず、ファッション感覚が高くファッションコミットメントの高い方を対象としている。商品はUAトラッドマインドを基本に国内外から調達したメンズドレス・カジュアルとウィメンズドレス・カジュアルおよび服飾・生活雑貨を取り扱う。

ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング 27店舗（うちメンズ・ウィメンズ専門店 3店舗） ● ●

「relaxing hearts」をテーマとし、20代中頃から30代中頃の方をメインターゲットに、シンプルで上質なライフスタイルのご提案を行う。ビジネスパーソン向けのスーツから、カジュアルウエア、さらにはキッズ、マタニティや生活雑貨、トイまでも揃える。

ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング 2店舗 ● ●

“セクシーは自分のために、エレガンスは男性のために”をコンセプトとし、20歳代後半～30歳前後の働く大人の女性に向け、衣料品および服飾雑貨の提案を行う。

オドナタ グリーンレーベルリラクシング 1店舗 ●

ビジネスウエアをメインに、コンフォート・リラックスウエア、雑貨、コスメ、フレグランスなども取り扱う、ビジネスマンのためのライフスタイルサポートショップ。

クロムハーツ 3店舗 ● ●

米国クロムハーツ社の商品のみを展開するブランドショップ。アクセサリ全般からレザーウエア、バック、小物類の取り扱いや、家具・ホームウエアまでのライフスタイル全般アイテムを展開。

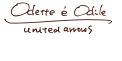
■ スモールビジネスユニット（S.B.U.）（5事業22店舗）



Another Edition



Changes



Odetto & Odile



Drawer



DARJEELING DAYS

アナザーエディション 7店舗 ●

レディスヤング、キャリア、ヤングミセスを対象とし、商品は「My favorite things」をコンセプトに、旬なアイテムからベーシックなまでのまでエッジのきいたオリジナルアイテムと国内外からセレクトしたアイテムを編集・提案。

チェンジズ ユニテッドアローズ 3店舗 ●

女性であること、おしゃれをすることを楽しむ女性に向けた、旬なデザイナーズアイテムやオリジナリティ溢れるスタイル提案を発信するウィメンズショップ。

オデット エ オディール ユニテッドアローズ 6店舗 ●

おしゃれ感覚の高い層、セレクトショップで洋服を選びキャリア層へ向け、女性の持つ優しさや知性的で活発な両面を表現したシューズ・バック・雑貨等を展開。

ドゥロワー 2店舗 ●

「21世紀の母娘」「ファッション界のオビニオンリーダー」に向け、世代を超えて支持される商品を取り揃える。ほんの少しのモード（最先端の流行）と上質なスタンダードアイテムで展開。

ダージリン・デイズ 4店舗 ●

40代を軸とした“ほんもののゆたかさを知っている大人”へ向け、リラックスしたラグジュアリー・ウエアを提案する。

■ UAラボ（1事業2店舗）



時しらず 2店舗 ●

「ブランドネーム」にこだわらない、洋服好きな層に向け、生地や縫製に重きを置き、長く愛着がわくアイテムを提案するメンズショップ。

Column

「Aさんからドゥロワーにいただいたコトバ」

チーフ・クリエイティブオフィサー 栗野 宏文

今回は、嬉しかったお話を紹介させていただきます（ちょっとだけ我慢！させてください）。海外出張先等で度々お会いするAさんはファッション業界歴が長く、業界のお目付け役といった存在の女性。ある日、そのAさんに「あなたに一度言いたかったことがあるの」と呼び止められ、僕は内心ドキドキしました。きっと、なにかお小言だろうな…と思ったのです。Aさんの発言はキャリアからくる的を得たものばかりで、ここは心してお話をお伺いしよう、と構えました。

‘あなたのところのドゥロワーだけだね、私はあそこでよく買い物をするの。必ず欲しいものがあるし、何といっても何気ない単品のオリジナルの完成度が素晴らしい。だから私は色違いで買うのよ。業界で、そういう基本的な部分をたいせつにしていることがだんだん衰退しているから、エライな、と思って一回言いたかったの。デザインや生産の方に言ってあげてくださいね’

なんと、お褒めのコトバでした。辛口のAさんからこんなコメントをいただけるとは！

そうなんです、ドゥロワーのデザイナー、生産担当者の日頃の努力は並々ならぬものがあり、あまりに根をつめて仕事をしているので心配になることも多々あります。

そして、その魂のこもったオリジナルを支える、気の利いた仕入れ商品を調達するバイヤー（彼女は非常に若い、のですが）、商品と接客が大好きで、毎日楽しくお客様と会話している販売員、それらすべてに限りない愛情を持ち、ドゥロワーをわが子のように‘育てて’いるプレス担当。ドゥロワーには‘良い商品、完成



度の高い内装、本気の販促活動、そして販売を楽しむ姿勢’が詰まっています。このチーム・ワークがAさんのような大人のお客様の評価につながっているのだと思いました。

Aさんのコメントは心から嬉しかったです。

最後に‘これはね、ドゥロワーだけでなく、ユニテッドアローズが何時でも、全社的に心がけ、実行していなければいけないことなのよ、そこをわかってね’と締めくくってくださったAさんの言葉を深く胸に刻みました。

Aさん、ありがとうございました。



文／栗野 宏文（くりの ひろふみ）

1953年5月10日生まれ。大学卒業後より（株）鈴屋、（株）ビームスなどファッションビジネスに携わり続け、1989年当社設立に参画。現在、当社常務取締役、チーフ・クリエイティブオフィサーを務める。「ダージリン・デイズ」では立ち上げの発起人となり、クリエイティブディレクターとして同事業をけん引。

イラスト／網中 いづる（あみなかいづる）

ユニテッドアローズ勤務を経てイラストレーターへ。書籍の仕事を中心に活動。最近の主な仕事として『赤毛のアン』（講談社文庫）シリーズ、『アンデルセン3つの愛の物語』（学習研究社）の「人魚姫」の挿絵など。TIS公募プロ部門大賞。TIS会員。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

当期末の資産合計額は35,334百万円となりました。連結貸借対照表の主なポイントは以下の通りです。

1のれん代

当期は株式会社フィーゴの全株式を取得し、子会社化したしましたが、無形固定資産の部に、上記に伴う「のれん代（連結調整勘定）」1,435百万円が計上されています。

2借入金増加

当期は自己株式および株式会社フィーゴ全株式の取得のため、借入を行いました。期末の長短借入金合計は10,163百万円となります。

3自己株式取得

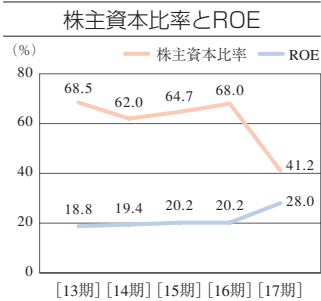
当期は自己株式約155万株を取得いたしました。これに伴い、株主資本利益率（ROE）は28.0%となりました。

	第17期（当期） （2006年3月31日現在）	
	百万円	構成比（%）
（資産の部）		
流動資産	23,378	66.2
現金及び預金	7,752	22.0
売掛金	255	0.7
たな卸資産	10,959	31.0
未収入金	3,494	9.9
繰延税金資産	577	1.6
その他の流動資産	338	1.0
固定資産	11,956	33.8
有形固定資産	5,384	15.2
無形固定資産	2,025	5.7
投資その他の資産	4,546	12.9
資産合計	35,334	100.0
（負債の部）		
流動負債	15,582	44.1
支払手形及び買掛金	5,480	15.5
短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金	5,204	14.7
未払金	2,019	5.7
未払法人税等	1,860	5.3
その他の流動負債	1,017	2.9
固定負債	5,187	14.7
長期借入金	4,959	14.0
その他の固定負債	228	0.7
負債合計	20,769	58.8
（資本の部）		
資本金	3,030	8.6
資本剰余金	4,095	11.6
利益剰余金	17,777	50.3
自己株式	△10,337	△29.3
資本合計	14,565	41.2
負債・資本合計	35,334	100.0

※2006年3月期は連結決算開始初年度のため、前期比較はありません。

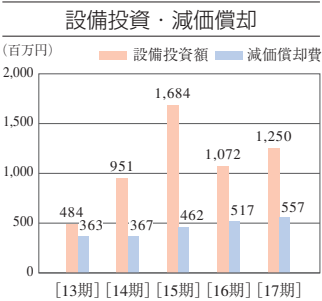
～高いROEと株主資本比率～

当期の連結ROE（株主資本利益率）は28.0%、連結株主資本比率は41.2%となりました。ROEは自己株式の取得により大幅に向上いたしました。



～設備投資額～

当期の設備投資額は1,250百万円となりました。この主な内容は新規出店および改装等の営業設備投資によるものです。また、当期末の有形固定資産の減価償却額は557百万円となりました。



※グラフの16期までは参考情報として単体での数値を記載しております。

連結損益計算書（要約）

当期の連結売上高は53,813百万円となり、連結当期純利益は4,076百万円となりました。連結損益計算書の主なポイントは以下の通りです。

1売上高500億円超え

創業17年目にして、連結、単体とも売上高が500億円を超えました。新たなステージでも安定的な成長を続けてまいります。

2経常利益

経常利益は7,639百万円となり、経常利益率は14.2%となりました。

3実質的な1株当たり配当金は株式公開以来、6期連続増配

当期の年間配当額は1株当たり20.00円となり、株式分割を考慮に入れた実質的な1株当たり配当金は1999年の株式公開以来6期連続増配となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

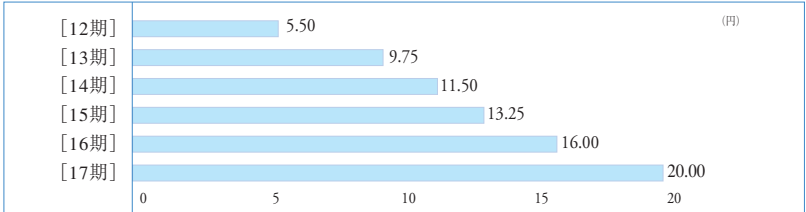
当期末の現金及び現金同等物の期末残高は7,650百万円となりました。連結キャッシュ・フロー計算書の主なポイントは以下の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に当期純利益の増加や、仕入れ債務の増加等により、6,596百万円のキャッシュインとなりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、主に営業設備投資や株式会社フィーゴの株式の取得により3,423百万円のキャッシュアウトとなりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入による収入と自己株式の取得による支出により、648百万円のキャッシュインとなりました。以上の結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、7,650百万円となりました。

	第17期（当期） （2005年4月1日から2006年3月31日まで）	
	百万円	売上比（%）
1売上高	53,813	100.0
売上原価	24,794	46.1
売上総利益	29,018	53.9
販売費及び一般管理費	21,355	39.7
営業利益	7,663	14.2
営業外収益	205	0.4
営業外費用	229	0.4
2経常利益	7,639	14.2
特別利益	10	0.0
特別損失	573	1.1
税金等調整前当期純利益	7,075	13.1
法人税、住民税及び事業税	3,084	5.7
法人税等調整額	△85	△0.2
当期純利益	4,076	7.6

※2006年3月期は連結決算開始初年度のため、前期比較はありません。

31株当たり実質配当金推移グラフ



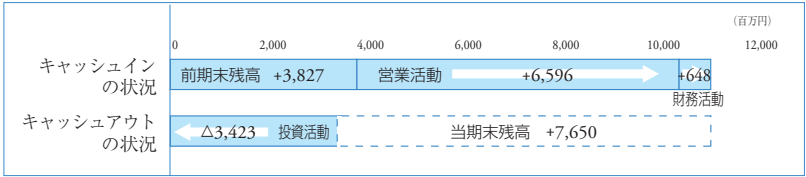
※グラフの1株当たり配当金は2000年5月および2004年5月の株式分割（1：1.5および1：2分割）を考慮し、分割後換算したものであります。

（単位：百万円）

	第17期（当期） （2005年4月1日から2006年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	648
現金及び現金同等物の期末残高	7,650

※2006年3月期は連結決算初年度のため、前期比較はありません。

■キャッシュ・フロー



単体財務諸表

単体貸借対照表（要約）

	第16期（前期） （2005年3月31日現在）		第17期（当期） （2006年3月31日現在）		前期比（％）
（資産の部）	百万円	構成比（％）	百万円	構成比（％）	
流動資産	18,001	65.1	22,157	63.9	123.1
現金及び預金	3,827	13.8	7,084	20.4	185.1
売掛金	57	0.2	60	0.2	104.9
たな卸資産	10,216	37.0	10,694	30.9	104.7
未収入金	3,106	11.2	3,430	9.9	110.4
繰延税金資産	461	1.7	554	1.6	120.2
その他の流動資産	330	1.2	331	0.9	100.3
固定資産	9,646	34.9	12,492	36.1	129.5
有形固定資産	5,229	18.9	5,355	15.5	102.4
無形固定資産	498	1.8	588	1.7	118.1
投資その他の資産	3,919	14.2	6,548	18.9	167.1
資産合計	27,648	100.0	34,649	100.0	125.3
（負債の部）					
流動負債	8,060	29.2	14,951	43.2	185.5
買掛金	3,410	12.3	5,117	14.8	150.0
短期借入金および 1年以内返済予定の長期借入金	656	2.4	5,190	15.0	791.2
未払金	1,662	6.0	1,922	5.6	115.6
未払法人税等	1,462	5.3	1,743	5.0	119.2
その他の流動負債	868	3.1	978	2.8	112.6
固定負債	775	2.8	5,177	14.9	667.8
長期借入金	524	1.9	4,959	14.3	946.4
その他の固定負債	251	0.9	218	0.6	86.8
負債合計	8,835	32.0	20,128	58.1	227.8
（資本の部）					
資本金	3,030	10.9	3,030	8.7	100.0
資本剰余金	4,095	14.8	4,095	11.8	100.0
利益剰余金	14,234	51.5	17,732	51.2	124.6
自己株式	△2,547	△9.2	△10,337	△29.8	405.8
資本合計	18,812	68.0	14,520	41.9	77.2
負債・資本合計	27,648	100.0	34,649	100.0	125.3

単体損益計算書（要約）

	第16期（前期） （2004年4月 1 日から 2005年3月31日まで）		第17期（当期） （2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで）		前期比（％）
	百万円	売上比（％）	百万円	売上比（％）	
売上高	46,330	100.0	52,610	100.0	113.6
売上原価	21,693	46.8	24,311	46.2	112.1
売上総利益	24,636	53.2	28,298	53.8	114.9
販売費及び一般管理費	18,555	40.1	20,811	39.6	112.2
営業利益	6,080	13.1	7,487	14.2	123.1
営業外収益	175	0.4	198	0.4	113.1
営業外費用	219	0.5	243	0.5	111.1
経常利益	6,037	13.0	7,442	14.1	123.3
特別利益	2	0.0	2	0.0	104.5
特別損失	130	0.3	573	1.1	440.7
税引前当期純利益	5,909	12.7	6,870	13.1	116.3
法人税、住民税及び事業税	2,466	5.3	2,913	5.5	118.2
法人税等調整額	△33	△0.1	△75	△0.1	223.0
当期純利益	3,476	7.5	4,032	7.7	116.0

貸借対照表のポイント

当期末の総資産は前期比125.3％の34,649百万円となりました。たな卸資産は前期比104.7％と、売上の伸び率（113.6％）を大きく下回り推移させることができました。負債の部では、自己株式の購入資金として借入を行い、期末の長短借入金合計額は10,149百万円となっております。また、自己株式の増加により、単体でのROEは24.2％と前期（20.2％）より4.0％向上いたしました。

損益計算書のポイント

当期の売上高は前期比113.6％の52,610百万円となり、創業以来16期連続増収、また経常利益、当期純利益は5期連続の増益となり、過去最高益を更新しました。構造改革の進ちょくにより、売上総利益率は前期より大幅に向上し、53.8％となりました。

～UAグループに株式会社フィーゴが加わりました～

ユニテッドアローズ(以下 UA)は、2005年11月2日付で株式会社フィーゴ(以下 フィーゴ)の株式を取得し、子会社化しました。



千田 望 代表取締役社長にお話を伺いました

「当社はイタリアのバッグ革小物ブランド「フェリージ」、フランスの高級紳士靴ブランド「コルテ」の日本総代理店として小売事業直営店9店舗と、日本全国セレクトショップや百貨店への卸事業を展開しています。商品は「生活の楽しみ」を切り口に高付加価値でこだわりのある商品集積を図り、日本の「モノより」な価値観を持った富裕層に向け提案しています。特にフェリージのバッグは団塊ジュニア世代を中心に絶大な支持を得ています。又当社は1987年創業以来の様々なインポートビジネスを通して培ってきたブランディング力を活かし、UAの拡大路線と利益に貢献できるものと思います。」

小売に強みを持つUAと、卸売を得意とし圧倒的な商品企画力を持つフィーゴがひとつのグループになることにより、さまざまなシナジー効果が期待できます。今後はUA各店舗におけるフェリージ商材の取り扱いを拡大し、専用コーナーの設置など積極的な展開を行っていく予定です。今後のUAとフィーゴの相互発展にどうぞご期待ください。

株式会社フィーゴ 会社概要

- 商号 株式会社フィーゴ
- 代表者 代表取締役社長 千田 望(せんだ のぞむ)
- 所在地 東京都港区南青山6丁目11番9号
- 設立年月 昭和62年4月
- URL <http://www.figo.co.jp/>
- 主な事業の内容 イタリア製靴などの輸入、卸売および販売
- 決算期 3月
- 従業員数 約50名(2006年3月末日現在)
- 資本金 40,000千円
- 最近事業年度における業績(2005年7月期)
売上高 2,001百万円 経常利益 336百万円

※ 2006年度より、決算期を7月から3月に変更しました。



Felisi
BAGS & BELTS

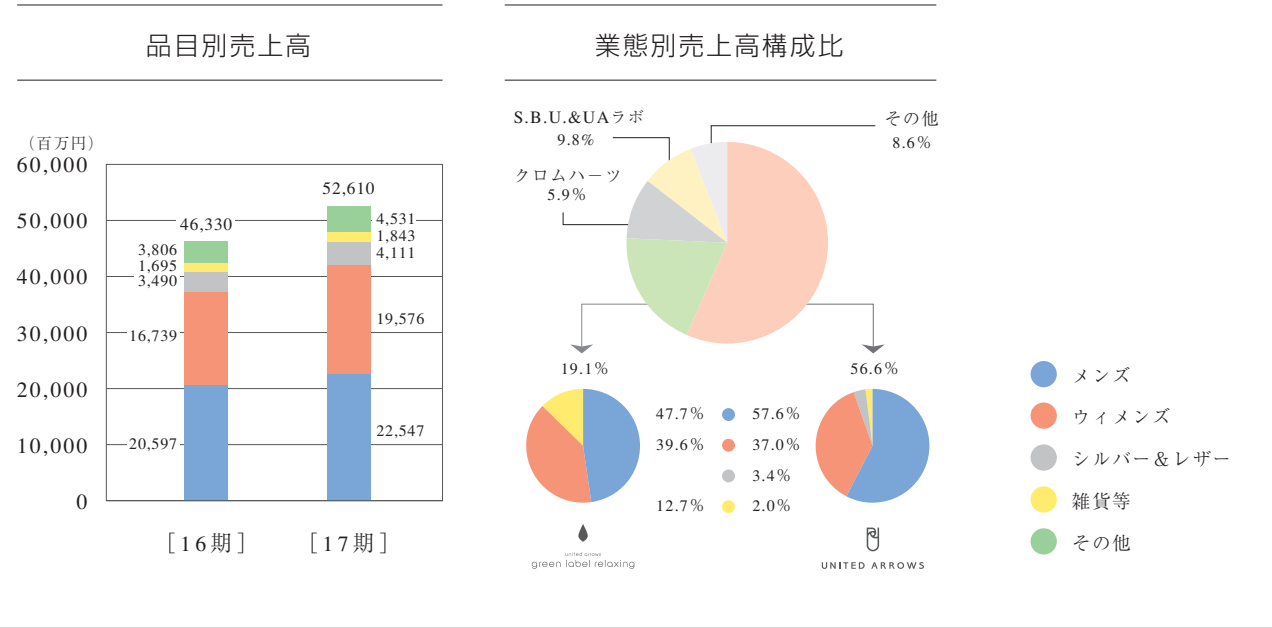


「フェリージはナチュラルレザーや金具などの素材へのこだわりと、細部にわたる手の込んだ工程を経てひとつひとつ作り込む、大量工業製品にはない、独特なぬくもりが特徴です。そして高級ナイロン素材とナチュラルレザーのコンビネーションが代表的なバッグで、豊富なカラーバリエーションも魅力のひとつとなっています。またディスカウントセールは行わず商品価値の安定化を保つことで、お客様から永く信頼を得ています。」(千田社長談)

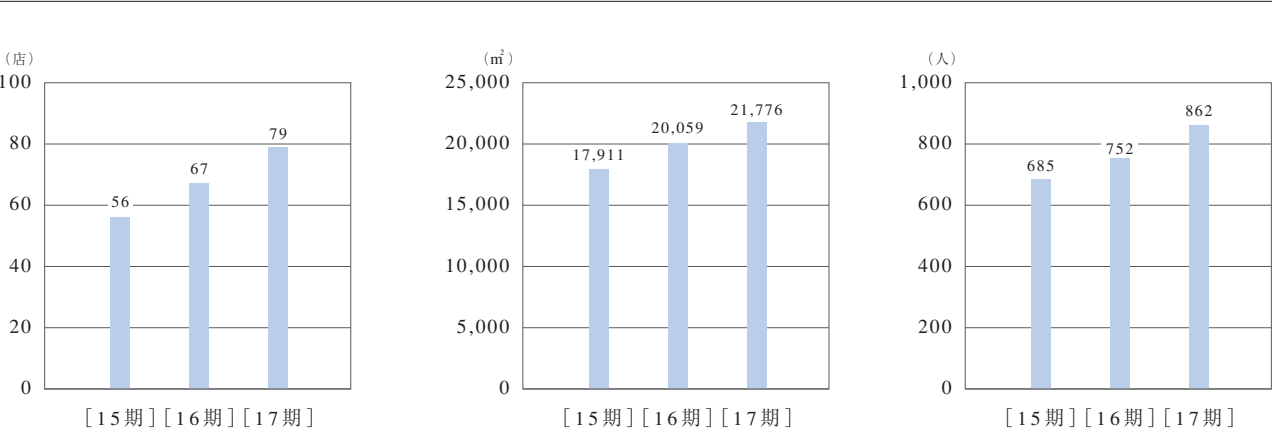


ラ ガゼッタ1987&フェリージ 青山本店

売上・店舗データ（UA単体）

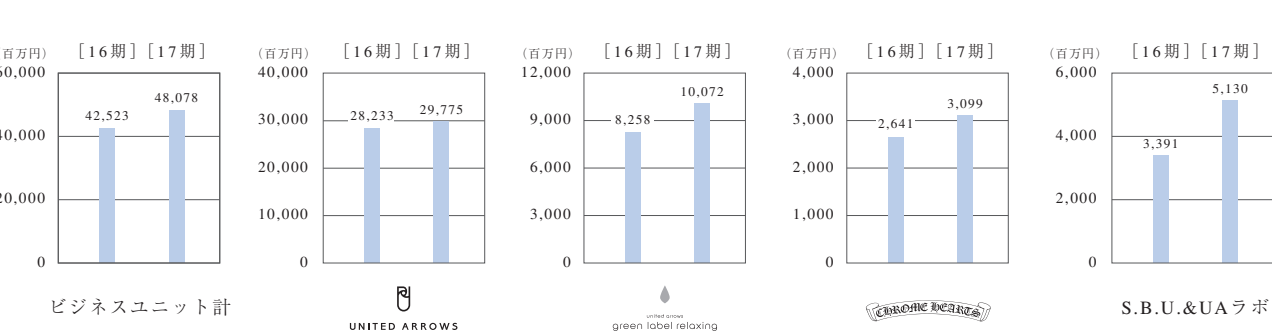


店舗数の推移 店舗売場面積の推移 従業員数の推移

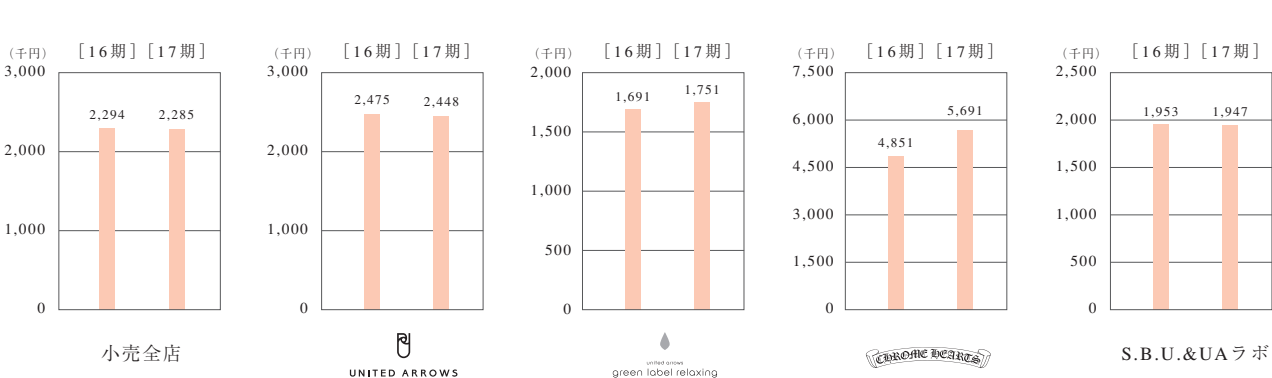


※ ビジネスユニット計には、小売、卸売、通販、フォーマルレンタルの売上が含まれております。
「その他」には、アウトレット、催事販売の売上が含まれております。
※ 第16期までS.B.U.及びUAラボであった「ザ ソプリンハウス」「ディストリクト ユナイテッドアローズ」は、第17期より「ユナイテッドアローズ レーベル イメージストア (L.I.S.)」となり、ユナイテッドアローズの中に売上高、店舗売場面積が含まれております。第16期の売上高、店舗売場面積につきましては、溯及算出しております。

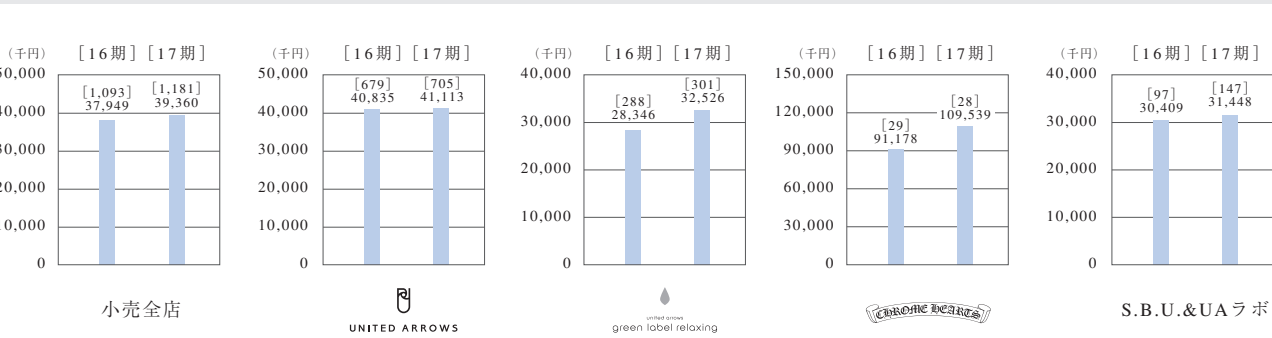
業態別売上高



業態別1㎡当たり売上高（直営店）※1



業態別1人当たり売上高（直営店）※2



※ 1. 売場面積の計算基準は期中平均によっております。
※ 2. [] 内の数値は、平均従業員数（人）であり、アルバイト（1人1日8時間換算）を含みます。

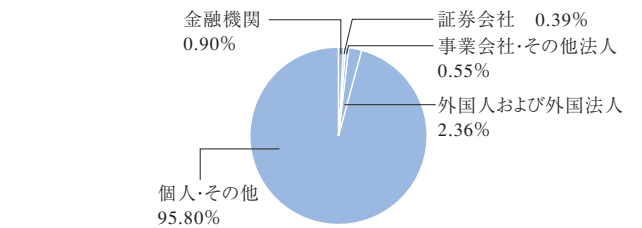
株式会社データ (2006年3月31日現在)

株主総数	5,093名
会社が発行する株式の総数	95,400,000株
※ 決算期後の増加 2006年1月27日開催の取締役会の決議により、2006年4月1日付をもって定款の一部を変更し、会社が発行する株式の総数は株式の分割割合に応じ95,400,000株増加し、190,800,000株となりました。	
発行済株式の総数	23,850,000株
※ 決算期後の増加 2006年1月27日開催の取締役会において、2006年3月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、2006年4月1日付をもって、その所有株式を、1株につき2株の割合をもって分割することを決議いたしました。これにより発行済株式の総数は、23,850,000株増加し、47,700,000株となりました。	

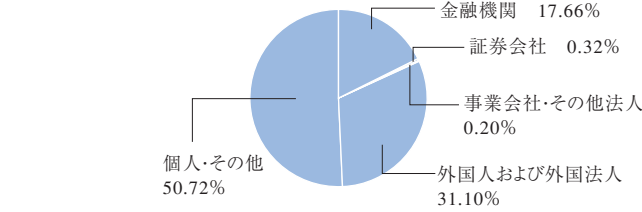
大株主	株主名	持株数	議決権比率
		株	%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,138,500	10.3
	重松理	2,104,000	10.2
	畑崎廣敏	2,000,000	9.7
	ゴールドマン・サックス・インターナショナル	1,472,400	7.1
	栗野宏文	1,117,000	5.4
	岩城哲哉	1,071,000	5.1
	水野谷弘一	1,064,200	5.1
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	734,000	3.5
	ザ・バンクオブニューヨーク・トリートー・ジャスデックアカウント	695,200	3.3
	インベスターズバンク	444,300	2.1

(注) 1. 議決権比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社が保有する自己株式3,235,454株は表中には含めておりません。

●所有者別分布状況



●所有株式数別分布状況



会社概要 (2006年3月31日現在)

商号	株式会社 ユナイテッドアローズ UNITED ARROWS LTD.
本社所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目31番12号
資本金	30億30百万円
従業員数	※862名（アルバイト 802名）
事業内容	紳士服・婦人服および雑貨等の企画・販売
主要取引銀行	1. 三菱東京UFJ銀行 2. 三井住友銀行 3. みずほ銀行

※従業員数は就業人員であり、アルバイト数は外数で記載しております。

役員一覧 (2006年6月28日現在)

代表取締役会長	重松理	常勤監査役	西脇良作
代表取締役社長	岩城哲哉	常勤監査役	中島由香里
常務取締役	水野谷弘一	監査役	桜木忠勝
常務取締役	栗野宏文	監査役	相川光生
取締役	小泉正己		
取締役	佐川八洋		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日
(中間配当を行う場合)	9月30日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告

※ 決算公告につきましては、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。掲載アドレスは、以下の通りです。
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/koukoku.html>
※ やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

ご案内

●IR優良企業賞を受賞しました

ユナイテッドアローズは、2005年度IR優良企業賞を受賞しました。この賞は、IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなど、優れた成果を挙げた企業に贈られます。当社は、開示の姿勢の一貫性、ツールや説明会の独自性などが高く評価され、2002年度優良企業奨励賞、2003年度優良企業賞に続く受賞となりました。

当社は、今後もすべてのステークホルダーの価値極大化を目標に、“公平でタイムリーな、透明性の高い、そしてわかりやすい”というIRポリシーに基づき、さらなるIR活動の充実に努めてまいります。

株主優待券について



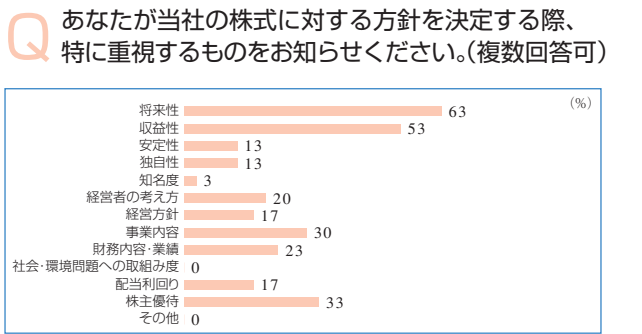
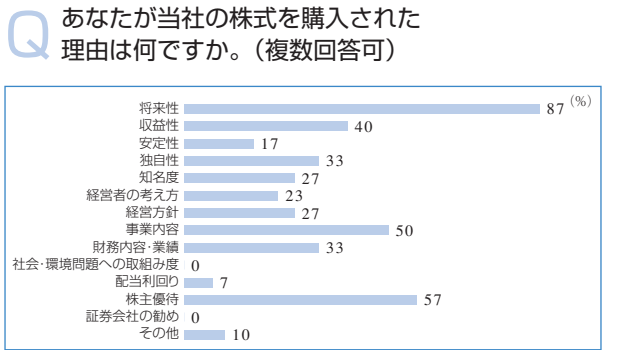
株主の皆様へ株主優待券を同封させていただきました。有効期限が2007年6月30日となっておりますので、是非期限内にご利用くださいますようお願い申し上げます。

株主優待券のご利用可能店舗などの詳細情報については、当社IR情報ページに掲載しております。

IR情報に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。	
社長室 IR・広報課	Phone 03-6418-0845 / ✉ IR@united-arrows.co.jp
コーポレートサイト	http://www.united-arrows.co.jp/ ※2005年12月にコーポレートサイトをリニューアルしました。
IR情報ページ	http://www.united-arrows.co.jp/ir/index.html
IRお知らせメール	http://www.united-arrows.co.jp/ir/infomail/index.html ※当社の月次売上概況、決算、出店などに関する情報をメール配信しております。配信の登録は、当社HPにて受付しております。

アンケート結果報告

東矢通信第12巻にて実施した株主様アンケートの結果をお知らせします（抜粋）。多くの方からご回答をいただき、誠にありがとうございました。



- 新店情報 2005年10月～2006年3月の出店、改装等
- ユナイテッドアローズ グリーンレーベルリラクシング 千葉店 オープン（10月23日）
 - ユナイテッドアローズ グリーンレーベルリラクシング みなとみらい店 オープン（3月17日）
 - ユナイテッドアローズ グリーンレーベルリラクシング 町田店 改装オープン（3月9日）
 - オドナタ グリーンレーベルリラクシング 大丸梅田店 オープン（3月18日）
 - ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング 松屋銀座店 オープン（3月3日）
 - ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング 大丸梅田店 オープン（3月18日）
 - オデット エオディール ユナイテッドアローズ 日本橋店 オープン（10月7日）
 - オデット エオディール ユナイテッドアローズ 立川店 オープン（3月3日）
 - ダーゼリン・デイズ 梅田阪神店 オープン（3月9日）

